

農業 × みちびき



<マルチロボットシステム> 複数台の農機が自動運転による隊列走行で農作業を実施。

- 農業分野は、高齢化の進行（210万人の6割以上が65歳以上）等により労働力不足が深刻。人手に頼る作業や熟練者でなければできない作業が多く、省力化が喫緊の課題。
- 内閣府SIP事業において実証事業を行ったほか、「みちびき」センチメートル級測位補強サービス(CLAS)を用いた実証実験を実施。
- 農機メーカー各社は、「みちびき」のセンチメートル級測位の实証実験を継続的に実施。
- 安倍元総理が2018年に、圃場内の農機の自動走行システムの市販化、2020年を目標とした遠隔監視での無人システム実現に向け、制度整備等を行う旨発言。



資料・画像提供：内閣府SIP「次世代農林水産業創造技術」